

軸封部への処理物侵入から推測されるトラブル

～ ロータリーバルブ ～

ロータリーバルブの軸封部へ処理物が侵入している場合（右図）に起こり得るトラブル事例をご紹介します。トラブルにならないための対策も記載しておりますので、最後までご覧ください。



■ 推測されるトラブル①

ローターの内部接触

軸封部へ処理物が侵入してしまったことが原因で、機外へ粉漏れが起こった事例です。軸封部から機外へ漏れた粉は、ベアリングまで到達し、摩擦や破損をさせてしまいました。このベアリングの破損によって、ローターの回転軸がずれ、内部接触を起こしてしまいました。



①粉漏れがベアリングへ到達



②ベアリング破損



③内部接触

■ 推測されるトラブル②

パッキンの損傷とコンタミネーション

軸封部へ処理物が侵入してしまうと、パッキンの摩耗や損傷が起こってしまいます。他にも、軸封部内で侵入した処理物が滞留すると、処理物が物性変化（変色や腐食等）を起こすことで、コンタミの要因にもなってしまいます。

■ 対策

定期的な増し締めと部品交換

軸封部への処理物の侵入を防ぐには、運転初期およびその後の定期的な増し締めと、定期的な軸封部品の交換をおススメいたします。